



熊本県 PTA 新聞

熊本県PTA連合会
<https://kumamoto-pta.jp>
〒860-0842 熊本市中央区
南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター4F
TEL(096)354-5919
FAX(096)354-5913
✉ info@kumamoto-pta.jp

●発行責任者 田中万里
●単位PTA数 339
●発行部数 71,000部

印刷 株式会社キャップ
TEL(096)362-3333
制作 ワタナベデザイン
TEL(0969)22-1089

監修 熊本県人権教育研究協議会

2面	日P 広島大会報告 九P 佐賀大会報告 九P 佐賀大会 提言校報告
3面	中間報告(デー・読書) 親子ふれあいデー 活動レポート ふれあい読書 研究会レポート 委嘱校募集案内
4,5面	県P大会 あしきた・みなまた 大会報告
6面	連載記事第1回 委員会報告 家庭部会研修会報告
7面	単P紹介 PTA共済 PTA任意保険
8面	県P阿蘇大会案内 九P長崎大会案内 県教委からのお知らせ 表彰者紹介 能登半島地震 災害支援へお願い



第49回 熊本県PTA研究大会 あしきた・みなまた大会

令和5年11月11日(土) 芦北町・津奈木町・水俣市の3会場で開催されました



第50回 熊本県PTA研究大会

阿蘇大会

令和6年 11/9(土)

50回目の節目を迎える研究大会は、様々な歴代会員の想いをつなぎます。その想いの中心は、常に子どもたちの健全やかな育ちと自立、そしてより良い親子や家族の絆ではなかつたでしょうか。

阿蘇大会では、雄大な自然に囲まれながら、その想いの実現に必要な理解や具体的な行動を、会場の参加者全員で討議研究し、未来への期待感を高めます。ぜひ皆様の熱い想いをお聞かせください。一緒に笑顔あふれる素敵な未来に進みましょう！皆様の参加を心よりお待ちしております。



「阿蘇大会」のPRを行ったみなさん
佐伯知彦大会実行委員長と阿蘇市のイメージキャラクター「あか牛くん」



日P広島大会 第71回日本PTA全国研究大会

報告



会計理事
池 裕子

今こそ誰かと「心のWi-Fi」をつなげよう!!

熊本から新幹線で2時間の地、広島。熊本県P連15名が、第71回日本PTA全国研究大会広島大会に参加しました。熱気溢れる2日間、全国から集結した約6,800人のPTAの間と交流を深めました。

コロナ禍で失われたことの一つに、「コミュニケーションの機会がありません。」「相手を理解して寄り添うこと。」大会を通じて、これこそが



広島大会 全体会

今の教育や子育てに必要な可欠なテーマであると感じました。中でも全体会での黒川伊保子先生の記念講演は、私にとって印象深いものでした。人の脳を電気回路装置と見立てた黒川先生のお話から、思考回路が違う二者が対話を重ねながら「心のWi-Fi」をつなげようとする中で、相手は逃げずに意欲を持って向かい合っていくはず、という大事なヒントを得ました。「心のWi-Fi」をつなげるためにやるべき対話の歩は、相手の言葉を「うね」で受け取る。例えば「それいいねーでもお母さんは心配なの」「遊ぶことは楽しいよねーでも勉強も頑張ろうね」のように。私も「いいね」受けを意識して対話しようと思えました。

広島大会で得られた学びを子育て親育ちに活かすとともに、私自身、みつけ、考え、変わることを、PTAの仲間とともにぶちましく(すく)楽しみたいと思います。

九P佐賀大会 第68回九州ブロック研究大会

報告



理事
山口 法子

PTAは楽しんだもん勝ち!!

「SAGAそら子ども未来 見直そうPTAの力」をスローガンに佐賀県で開催された研究大会に、当県からは400人を超える方々が参加されました。

1日目は「組織・運営」「家庭教育」「人権教育」「教育環境」「広報・地域連携」の5分科会で研究討議、特別分科会では「そもそもPTAとは」の基調講演・シンポジウムが行われました。

2日目の全体会では、今年開業のSAGAアリーナにて、各団体・個人の表彰式、株式会社タニタ代表取締役社長の谷田千里氏による記



念講演、エンディングはお笑いタレントのはなわ氏のスベシャルライブで笑いと感動に包まれ、幕を閉じました。エリアや単Pの仲間と一緒に九州各地の取り組みを学ぶ貴重な機会である九P大会。私も地元菊池市の仲間たちと「大人の修学旅行」と題し、PTAに楽しいを実感してもらえよう、移動を含め全員で行動を共にしました。分科会では二人が質問しアドバイスをいただき、全体会では演奏をノリノリで楽しみ、なにより学び、繋がり、話し、仲間になる、大切な時間を過ごしたことで、「楽しい」を感じるといっていました。

ご参加の皆様、お一人おひとりにとって、子どもたちの未来にとって、これからのPTAにとって、大切な何かを一つでも持ちかえていただけたことを願います。来年は長崎の地で、共にPTAに楽しいを実感しましょう!



提言校

玉名市立滑石小学校

報告

家庭・地域・学校が一体となつて地域の宝である滑石の子どものための活動健やかな成長を支援するための活動



PTA会長 入江 祐輔
教頭 山口 伸一

みは全国に広めていくべき」という大きな評価をいただきました。

令和4年度、PTAと地域との有機的な連携について、日本PTA年次表彰で文部科学大臣表彰を受けました。このことから、今回の提言発表につながりました。

これまで滑石小学校が、家庭と学校、地域が一体となつて取り組んできたことを、たくさんの方々の前で発表することができ、参加者の方々から、「この取り組みの方々から、この取り組み」



玉名市立滑石小学校

PTA 活動紹介

■主な活動内容

- 5月 ●滑石小合同運動会 (地域の滑石支館と合同)
- 6月 ●しゃくつり・貝ほり大会 (地域の漁協の協力のもと)
- 夏休み ●「滑石ふれあいデー」(8月第1日曜) (地域のまちづくり委員会と合同)
- 1月 ●どんどこや (第2日曜日) (PTA主催、地域にも協力を呼びかける)

■定期的に行っている活動

- 読み聞かせや丸付けボランティア (PTAの有志やOB・OGで結成の「あすなる会」)
- 伝承遊びやいもの苗植え・いもほり (老人会との交流のサポート)
- 安全パトロール (地域の防犯組織と連携した登下校の見守り)

■年2回行う活動 (6月・11月)

- 資源回収 (PTA主催、地域に協力依頼)

親子ふれあいデー活動
ふれあい読書研究会

中間報告と 意見交換



家庭教育委員
中 碧

令和5年12月6日に中間報告会が行われました。どのような活動をしたか、これから予定しているかグループ別に協議を行い、まとめを代表者の方に発表していただきました。

「ふれあい読書研究会・CP読書プラン」は熊本市P

TA協議会と合同で行いました。読み聞かせを地域の方や高校生にしてみよう、スタンブードやゲームを取り入れる、書店が学校に来てみんなで本を選び投票、上位の本を購入するなど、面白い取り組みもありました。図書室の畳の張り替えなど、子どもが過ごしやすい場所作りもされていました。



意見交換の様子

門松作り、様々なスポーツ、150周年祭に絡め職場体験学習をされた学校もありました。いろいろな学校の活動を知り、子どもたちの意欲を聞く事ができ、有意義な報告会となりました。これからもこの事業が幅広く活用されていくことを願っています。

令和5年度 親子ふれあいデー活動 報告

笑いで元氣とパワーを!! 「菊之池新喜劇」開催



菊池市立 菊之池小学校

学校概要

校 長	原稿執筆	宮野 美香
PTA会長	三上 真子	28人
児童数	2000人	
教職員数	高山 真子	
PTA会員数	富永 泰寛	
児童数	28人	



安井政史さんとの新喜劇の様子

「いつも。〇〇です。どうぞよろしく願います。」出囃子とともに、子どもたちが体育館のステージに飛び出してきました。12月19日に、「菊之池新喜劇」と題して、5・6年生が練習してきた漫才8本（子どもたちがネタを作成）、新喜劇4本（芸人さんが台本を作成）を発表し



もっこすファイヤーさんの漫才

ました。7月から合計4回にわたり、吉本興業のもっこすファイヤーさんと安井政史さんを講師としてお迎えし練習に取り組みました。子どもたちは、芸人としての仕事だけでなく、創造すること、表現することなどの面白さや難しさについて学んできました。最初は、人前で発表することを苦手としていた子ども



子どもたちの漫才も大盛り上がり

たちもいましたが、次第に声も大きくなり、体全体を使って表現できるようになってきました。当日は、保護者や地域の方だけでなく市長まで来校していただき、400人を超える参加者となりました。最初の漫才から、爆笑の連続で、会場は笑いに包まれていました。「テレビの新喜劇を見ているようでした。」「笑うことで元氣になりました。」「など、参観された方々から声がかれました。

親子ふれあいデー・ふれあい読書

令和6年度

委嘱校募集の

ご・あ・ん・な・い



親子ふれあいデー

PTAが主催となり家族で自然とふれあう時間、またPTA会員同士や地域の人々との交流を通じ人間関係を育みふれあうことなどを目的とした事業です。

委嘱校…18校
委嘱金…1校につき20,000円支給。

※毎年応募できます。

※2月下旬～3月上旬に各单位PTAへ1回目の募集案内を配布します。
※4月上旬に2回目の募集案内を配布。(予定)
※先着順ではありません!!応募多数の場合は、応募内容等にて選定致します。

たくさんのご応募 お待ちしております!!

ふれあい読書研究会

PTAが主催となり家庭・学校・地域を巻き込み、気づき、学び、楽しく読書に親しみ、本とふれあうことなどを目的とした事業です。

委嘱校…20校
委嘱金…1校につき50,000円支給。

※過去3年間（令和3年度～令和5年度）に委嘱を受けていない単位PTAが応募可能です。



新しく購入した大型絵本

姫戸小では、毎週金曜日の朝から、15分間の読み聞かせ活動を行っています。読み聞かせをしていただくのは、PTA会員を含む地域ボランティアの方々と姫戸小と隣接している姫戸ひかり保育園の先生方です。姫戸ひかり保育園の先生が読み聞かせにいられたとき

には、1年生の子ども達も、いつも以上にワクワクした気持ちで楽しみにしています。本年度は、ふれあい読書研究会の補助金をもとに、新しく大型絵本を六冊購入しました。姫戸小にある大型絵本のほとんどがかなり古くなってきたため、今回の大型絵本の購入を、地域ボランティアの方も大変喜ばれ、子ども達も、興味深く大型絵本の挿絵に注目していました。「大型絵本」にいろいろのさかなの挿絵がとてもきれいで大好き」といった嬉しそうな声が聞こえてきます。

姫戸小では、給食の時間を活用し、校内放送による読み聞かせ活動にも取り組んでいます。今後、姫戸小の既存の取り組みを更に充実させるためにも、学校と地域がより一層、連携・協働した取り組みを推進していくとともに、家庭での親子読書の推進にも取り組んでいきたいと考えています。



大型絵本を使った読み聞かせの様子

令和5年度 親子ふれあい読書研究会 報告

大型絵本に大喜び!! 読み聞かせ活動の推進



上天草市立 姫戸小学校

学校概要

校 長	原稿執筆	藤本 三郎
PTA会長	坂田 寺尾	2066人
児童数	2066人	
教職員数	坂田 寺尾	
PTA会員数	藤本 三郎	



気づきと学びを 親育ち 子育てに活かして

熊本県PTA連合会

会長 田中 万里

「第49回熊本県PTA研究大会 あしきた・みなまた大会」には、県内外各地から会員の皆様を始め、多数のご来賓をお迎えし開催できましたことに心から感謝申し上げます。

「つなぐ大学」という大会スローガンのもと、各分野で活躍中の講師をお招きし、令和2年の豪雨災害や過去の環境問題を克服した経験から得られた知見や、地域の資源を生かした取り組みについてご講演いただき、会員が今後のために幅広く学ぶ貴重な時間となりました。改めて、ご尽力いただき「学びの場」を創っていただいた実行委員会を始めとする関係者の皆様に御礼申し上げます。そして、何よりも一人ひとりが大会で得た、気づきと学びをこれからのPTA活動や親育ち子育てに活かしていただければ嬉しく思います。これからも子育てを通してPTA活動を楽しみましょう。



「つなぐ力」を 子どもたちの未来の ために役立てて

実行委員長

下山幸之助

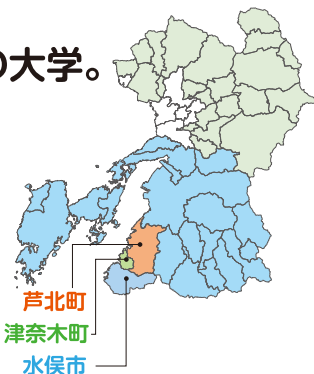
このたびは、第49回熊本県PTA研究大会あしきた・みなまた大会にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、開催地となった芦北町・津奈木町・水俣市の皆様には、開催において様々なご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

実行委員会では、参加者の皆様に本大会テーマでもある「つなぐ力」について楽しく学んでいただけるように、約一年前から本格的に準備を始めました。

講演内容はもちろん、アトラクションや場内展示物についても開催地の特色を加えたことで、参加者の皆様にとって有意義な時間と感じてもらえたのであれば幸いです。

今大会で学ばれた「つなぐ力」を、ぜひとも子どもたちの未来のために役立ててください。

令和5年11月11日(土) 芦北町・津奈木町・水俣市の3会場をキャンパスに見立てた一日限定の大学。県内外より1,500人を超える方々にご入学いただきました。これからも開催地の想いの詰まった学びの場を、進化しながら、つないでいきます。



あしきた・みなまた大会 つなぐ大学

MINAMATA

水俣市文化会館

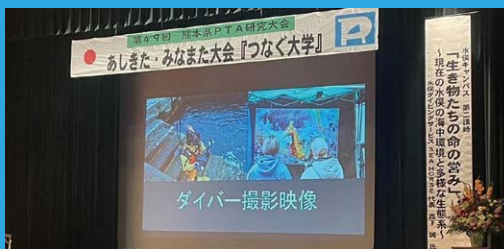
- 【テーマ】 環境
- 【第1講時】 パネルディスカッション
- 【第2講時】 講演 講師 森下 誠様
演題 生き物たちの命の営み
～現在の水俣の海中環境と多様な生態系～



「環境」についてお話



森下誠様



ダイバー撮影映像



会場報告

会場責任者
水俣市立水俣第一小学校教育友会会長

中村 真大

報告

学びをつなぐ

このたびは、つなぐ大学・水俣キャンパスへたくさんのご参加をいただき誠にありがとうございました。水俣では環境を会場テーマとし、会員の皆様にとって学びの場となるよう実行委員会やスタッフが一つになって、大会をつくり上げることができました。準備を進める上で様々な課題と向き合う機会がありましたが、皆で力を合わせ、考え、話し合い、進むべき道を定めることを繰り返しました。これは、PTA活動として私たち大人が、子どもたちを取り巻く様々な課題や問題の改善に向けて取り組む姿勢へと繋ぐことができると感じました。この経験を学びとし、自身も「つなぐ人」となって「子どもたちのためのより良いPTA」へとつなげていきたいです。



参加者感想

上天草市立阿村小学校 PTA
松本美智子さん
響さん

感想

親子席で楽しく学べた

研究大会は、これまで夫が参加していましたが、今年は仕事で参加できなくなり「ためになるからぜひ自分の代わりに行ってみて」と言われ、初めて参加しました。

水俣キャンパスは「環境」をテーマとされ、パネルディスカッションでは、中学生と共にごみの高度な分別やSDGsの推進に取り組まれていることに感じました。

午後の森下様の講演では、かつて学校で学んだ「水俣病」関連のイメージと、再生した水俣の美しい海中環境との違いに「こんなに綺麗なのか」と驚き感動しました。

1日を通して、とても勉強になりました。特に、親子席で小学5年生の息子と一緒に楽しく学ぶことができとてもよかったです。ありがとうございました。

ASHIKITA

芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）

【テーマ】 防災
 【第1講時】 パネルディスカッション
 【第2講時】 記念講演 講師 えみりー様
 演題 今日も天気になあれ
 ～繋がる笑顔～



参加者感想

八代市立金剛小学校 PTA 副会長
宮崎 麻衣さん

感想

初めて大会に参加しました

パネルディスカッションでは、消防本部の方や役場の方が令和2年7月の豪雨による深刻な芦北地域の災害の状況を映像とともに説明してくださいました。今回初めて見る映像もあり、改めて災害の恐ろしさを知りました。

アトラクションでは火縄銃の演舞や空手の演舞、新体操の演技を見せていただきました。

今回参加して、初めて見たり聞いたりして知る事が多く、これも今回大会のテーマである「つなぐ」ことになるのではと思いました。素晴らしい大会を計画し開催してくださいました大会実行委員会の皆様に心より感謝申し上げます。



タレントのえみりーさん



「いのちをつなぐ防災」についてお話

会場報告



会場責任者
 芦北町立田浦中学校 PTA 会長
黒田 了智

報告

つながりの大事さを改めて感じた

「芦北キャンパス」午前の部は「防災」をテーマに、前芦北消防署長塚原様、芦北町役場危機管理室小川様、元佐敷中学校教頭山下様の御三方に消防、行政、学校それぞれの立場から、令和2年7月豪雨の経験をもとに「いのちをつなぐ防災」についてお話いただきました。

午後の部は、タレントのえみりーさんより「今日も天気になあれ～繋がる笑顔～」を演題にお話しいただきました。ご自身の病気の事、故郷芦北町の豪雨災害の経験から、嬉しい事や辛い事、悲しい事も共有しあえる家族や友人とのつながりが大事だと改めて感じました。

運営に携わって頂いた実行委員会・スタッフの皆様、ならびにご参加いただいた皆様に、心より御礼を申し上げます。

報告 第49回 熊本県PTA研究大会

TSUNAGI

津奈木町つなぎ文化センター

【テーマ】 地域教育
 【第1講時】 パネルディスカッション
 【第2講時】 講演 講師 森 千鶴子様
 演題 ごちそうは、ここにある
 ～海・山・畑からの食育～



参加者感想

山鹿市立山鹿小学校 PTA 会長
 山鹿市 PTA 連絡協議会会長
井口 裕二さん

感想

つながっている素晴らしさを感じた

私は、この研究大会に参加して、津奈木小学校のサラダ玉ねぎの取り組みに大変驚かされました。単に作物を育てるだけではなく、プロのメーカーの方の指導のもと商売を実践するという、まさに『本物のビジネス』を体感する。普段の授業では学べない日本で初めての取り組みです!とおっしゃられていたのも納得です。学校、行政、地域の方々、PTA、そしてメーカーの方が一体となり、皆がつながっている素晴らしさを感じました。

午後の講演では、日々の食事の大切さ、郷土料理の素晴らしさを学びました。それぞれの地域のおばあちゃん達が作る郷土料理が一番のごちそうで、その伝統をつないでいくのは我々の世代の責務なのかなと感じました。



「地域教育」についてお話



地域コーディネーター森千鶴子様



会場報告



会場責任者
 津奈木町立津奈木小学校 PTA 会長
門崎 照征

報告

つながりの大切を再認識

実行委員一同「お・も・て・な・し」の心をモットーに、津奈木キャンパスに入学される皆様に、津奈木を知っていただき、いかに学んでいただくかを考え、準備を進めてきました。

地域教育をテーマとし、津奈木小の取り組みや森先生のお話を紹介することができましたが、私自身改めて何をすることもひとりではできない、「つながりの大切さ」を再認識させられました。

当日に至るまでいろいろな課題がありましたが、1つの目標に一生懸命取り組むと、自然と人と人はつながっていくのだと実感することができました。

この大会を通じ学んだことを子どもたちに伝えていきたいと思えます。

ご参加いただいた皆様、実行委員やスタッフをはじめご協力いただいた全ての方々、本当にありがとうございました。

連載記事

第1回

県P連って?

皆さん、PTAってどんなイメージですか?入学したての人、役員をされている人、ご自身の経験や知識によって、感じ方は多様化しているのではないのでしょうか。

県P連では、年2回(7、3月)発行の本紙やホームページ等で情報を発信していますが、さらに皆様へ「知ってもらう」ために、組織や活動などを分かりやすくテーマ毎に分けて連載していきます(全5回予定)。今回は組織の略称・通称について紹介します。

熊本県PTA連合会は、熊本市を除く県下の小学校、中学校及び義務教育学校 339校のPTA等が加盟する「社会教育関係団体」です。約7万人の会員に支えられています。



熊本県PTA連合会ホームページ

気になる! もっと知りたい! 方はぜひ!



県P連・県P	熊本県PTA連合会の通称です。熊本市中央区の熊本県総合福祉センター内4Fに事務局があります。
単P	単位PTAの略称です。(単位とは各学校のことです。)
ブロック	県南と県北の2つに分かれています。
エリア	市Pや郡P・郡市Pと呼ばれる組織で、県下18に分かれています。
地域協議会(連合会)	県下14地域協議会(連合会)にあり、エリアが属しています。
九P・九プロ	九州ブロックPTA協議会の通称です。8県3政令市の11団体が加盟しています。
日P	公益社団法人日本PTA全国協議会の通称です。全国64団体が加盟しています。



今後県P連の活性化のため、必要な取り組みについて積極的な検討と実践を重ね、会員皆さまの会費によって運営している団体であることを自覚した組織運営の為に委員一同取り組んでまいります。

今後県P連の活性化のため、必要な取り組みについて積極的な検討と実践を重ね、会員皆さまの会費によって運営している団体であることを自覚した組織運営の為に委員一同取り組んでまいります。

特に本年度はPTA活動におけるICT化を推進するため、県P活動にグループウェアシステムを新たに導入し、理事会をはじめ、事務局と各地域協議会との連絡・情報共有の円滑化を図りました。今後各エリア、単位PTAにも展開できるよう研究を重ねます。

新しい県P連の姿を目指して!

総務委員会

委員長 吉村俊彦

総務委員会では、これまでの慣習や慣例にとらわれることなく、県P連全体の事務の改善や、ICT教育専門部会に関する活動を行っています。

特に本年度はPTA活動におけるICT化を推進するため、県P活動にグループウェアシステムを新たに導入し、理事会をはじめ、事務局と各地域協議会との連絡・情報共有の円滑化を図りました。今後各エリア、単位PTAにも展開できるよう研究を重ねます。

令和5年度委員会報告

総務委員会



よりよき学びの場を目指して!

委員長 下山幸之助

教育委員会、本会の大きな事業である研究会の運営委員会として、理事会と実行委員会の多様な意見を尊重し、会員の皆様の関心を引く内容になるよう努めました。研究会当日は、あした会場の式典をはじめ基調講演、パネルディスカッションなどを担当し、大きな問題もなく無事終えることができました。また、アンケートにも「来てよかった」「来年も楽しみにしています」との声が寄せられ、教養委員会として大変嬉しく思います。研究会の運営を通して、会員の皆様の学びの機会を提供すること、また、PTA活動の活性化に貢献することの大切さを改めて感じました。今後、会員の皆様の学びの場となるような活動を企画・実施していきます。

また、3月9日に開催される単位PTAリーダー等研修会の計画も進めています。今回も対面での開催、会場は御船カルチャーセンターで行います。PTA運営の参考となる講演と前回大好評だった親の学びプログラムを計画しています。この研修会を通して、PTAリーダーとしてさらに各単位PTAの発展的活動に取り組んでいただければ幸いです。

今後、委員会の皆様の学びの場をつくれるように、委員会同尽力してまいります。

家庭教育委員会

つながるPTA活動を!

委員長 橋本 昭

家庭教育委員会は6月30日に「ふれあい読書研究会」「親子ふれあいデー」の委嘱式を行い、12月6日には中間報告会を行いました。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、制限のないPTA活動の報告が増えたことに、大変うれしい気持ちになりました。

また、9月30日に家庭部会と協働で開催している「家庭部会研修会」も制限をすることなく行うことができました。

11月11日には第49回熊本県PTA研究大会あじきた・みなまた大会のみなまたキャンパスを担当させていただきました。

今回は新たな取り組みもあり、来年度以降の県P大会運営につなげていきたいです。そして、私たち委員会が様々な活動を通して「つながる」となり、「つながるPTA活動を目指して」今後の委員会活動に取り組んでまいります。

今年度も委員会活動にご理解とご協力をいただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報委員会

参加したいと思える分りやすい情報発信を目指して!

委員長 迫田 健一



広報委員会では、年2回の新聞発行を行っております。委員の皆さまが読みやすく、目を通しやすい紙面を考え、今回から以前の紙面を少し見直し、写真を多く配置したり、フォントの変更を行いました。また「県P連って?」と題し、会員の皆さまには分かりづらかったPTAの組織について説明する枠を設けました。これから数回に分け、掲載をしていきたいと思います。

PTA自体の存在意義が問われる中、その活動内容を分かりやすく丁寧に会員の皆さまにお届けし、今後必要とされる県P連を目指して、紙面やホームページを通し、情報発信をしてまいります。今回発行にあたり、多くの皆さまに寄稿いただきましたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

家庭教育委員会 副委員長

令和5年度家庭部会研修会が9月30日に熊本市中央公民館7階ホールで開催されました。研修会とワークショップの2部制となっており、研修会の方では現役PTA副会長でありながら子ども4人を育てている水俣市社会教育委員・水俣市立袋中学校PTA副会長である須崎あゆみさんに講演を行っていただきました。

「私の子育て」泣いて笑って感謝してが演題であり、須崎さんの実践の子育てが話の中心であり、その中でも息子さんの幼少時代の話題が多く、その時の話をされた場面では涙ぐみ言葉に詰まる場面もあり、参加された皆さん集中して聞き入っていました。

その後のワークショップでは、熊本県教育庁社会教育課家庭教育支援班主幹小園貴寛様に親の学び講座として参加者同士で会話をしながら参加体験型の研修を中心に行ってもらいました。日頃接点のない他地域のPTA会員の皆さんとの意見交換等が有意義な時間でした。

研修会とワークショップ両方で質問もあり、皆さんの少しでもいい部分を勉強しようという意識が伝わりました。今回は女性が8割くらいの参加だったので来年度以降は男性の参加者が増えるようよい研修会になると思います。



本校は、清流川辺川や子守唄の里で有名な五木村にあり、全校児童24名の小規模校の学校です。本校の歴史は古く、本年度で創立148年を迎えます。

五木東小学校は毎年度、村内の保育園・中学校・高校と一緒に「保小中高合同大運動会」を開催しています。その開催も今年で11回目となりまして、赤団・白団に分かれ、園・

なく、発達段階に応じて合同で競技を行うなど工夫を凝らしながら取り組んでいます。途中、地域の方々も一緒にリレーに参加するなど五木村民の大きな行事の一つにもなっています。五木東小学校PTAでは、この大運動会での連携が教育活動の充実につながるよう様々な場面でサポートしていきたいと考えています。

単P活動紹介

保小中高 合同大運動会

五木村立 五木東小学校PTA

県南 球磨郡エリア

児童数 24人

教職員数 13人

校長 ● 白樫 明宜
PTA会長 ● 豊永 正美
原稿執筆者 ● 久保田規史



11回目の保育園、小学校、中学校、高等学校 合同大運動会

本校は、熊本県と福岡県の県境に位置する自然豊かな学校です。歴史も古く、明治6年に創設された「授哺堂」に始まり、数回の合併や改称を経て、昭和22年から「荒尾市立平井小学校」となり、今年度は創立150周年を迎えることができました。

今年の11月には、創立150周年記念式典を開催し、在校生や保護者、地域の方々やたくさんの方たちとお祝いすることができました。151年目も、『笑顔まんか

きました。在校生の代表による誓いの言葉には、「誰一人取り残されることなく、『笑顔まんか』で過ごせる学校にしていきたい」とありました。

記念イベントとして、物販やバザー、オリジナルタイトルの作成などを行いました。イベントの中で、ニースポーツのモルック大会を開催し、大人も子どもも、地域の方たちも大いに盛り上がり、思いのままの成長を見守って行けたらと思います。

単P活動紹介

笑顔まんかい 平井小!!

荒尾市立 平井小学校 PTA

県北 荒尾市エリア

児童数 155人

教職員数 23人

校長 ● 吉永 鈴子
PTA会長 ● 大木 健二
原稿執筆者 ● 大木 健二



創立150周年記念式典で はいチーズ!

熊本県PTA連合会 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)のご案内

学校内外でケガをしたら... 自転車を運転していてケガをしたら...

PTA 任意保険

任意加入保険 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)

学校内外でのケガや、偶然な事故による法律上の損害賠償責任など、お子さまを取り巻く様々な事故のリスクに対応します。



上記の他にも、病気補償・学校管理下動産補償・育英費用補償・被害事故補償など様々な補償でお子さまをお守りします。 ※補償内容、保険金額はプランにより異なります。

●団体割引制度により保険料は約24%割引

5種類のプランからお選びいただけます。
1年間の掛金 2,030円～ (プラン・補償開始日により掛金は異なります。)
加入件数 / 8,336件 (2023年度)

※割引率については、このパンフレットでご案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の区)における保険料に対しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変動する場合がありますので予めご了承ください。

オンラインから、パンフレットの確認やご加入のお手続きができます。

『小・中学生総合保障制度』

<https://www-515.aig.co.jp/adver?sd=jiagn8g2-24>



スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み込むか、左記URLにアクセスしてください。

お申込み・お問合せ

熊本県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局

TEL:0120-228-553

受付時間:平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5セレス薬院5F 株式会社コーリン内 制度引受保険会社: AIG損害保険㈱、東京海上日動火災保険㈱、損害保険ジャパン㈱、三井住友海上火災保険㈱、Chubb損害保険㈱

ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申込みください。

S-240513(2024-12)

熊本県PTA共済

PTA 共済

P災コース 97%
(児童・生徒)加入率 約
R4年度県内加入者
(約184,000名)

安互コース 96%
(保護者)加入率 約
R4年度県内加入者
(約145,000名)

こんな時、安心です!

▼給付について「たとえばこんなときに...」



登下校中で

事故によるけがなどにあったとき 助けとなるのがPTA共済です

学校で、部活動で

PTA活動で

P災コース

小中学校の児童生徒.....500円(年額)
高等学校の生徒.....800円(年額)
部活動指導者.....500円(年額)

安互コース

PTA会員(保護者・教職員等).....150円(年額)
PTA活動の指導者・支援者.....150円(年額)

給付対象となるのは以下の通りです

P災コース 児童・生徒

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校での事故によるけが・急性の疾病のうち障害が残るもの・死亡に至ったもの、交通事故、歯科保険外治療が必要なもの

安互コース 保護者(PTA会員)

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校行事に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)

詳しくはホームページをご覧ください

★手続きは各学校PTA共済担当者へご連絡ください。

熊本県PTA共済 検索



ホームページ



学びを实践へ!
~集まるうで 語り合おうで やってみようで~

第69回 日本PTA九州ブロック研究大会

長崎大会

大会1日目 分科会 大会2日目 全体会
令和6年 10.26(土) 10.27(日)

受付開始 12:00 開会 13:00 受付開始 8:30 開会 9:00

● 出島メッセ長崎

参加者/九州ブロックPTA関係者(約6,000人)

主催/九州ブロックPTA協議会 主管/長崎県PTA連合会

Aso Lab.

アソラボ 雄大な阿蘇を研究室にみたくて「ASO Laboratory」の略称です

第50回 熊本県PTA研究大会 阿蘇大会

令和6年11月9日(土) 開催予定

『つなぐ』をテーマに掲げた令和5年度のあききた・みなまた大会から、大会にかける情熱をしっかりと受け継ぎ令和6年に皆さまをお迎えするのは阿蘇です。

50回の研究大会の歩みによりPTAの取り組みは、その時その時代に合わせて進化しました。その進化の歩みを止めず、新たな気づきや学びを阿蘇の自然に囲まれながら探求しませんか?

阿蘇大会では、各分科会の取組を研究室に見立て、参加者全員でそれぞれの家庭の在り方や家族の絆を研究し、オンリーワンの我が家に気づく機会となる事を期待します。

雄大な自然の中で、おいしい食べ物を食べてやさしい気持ちで家族を見つめる。そんな阿蘇大会に多くの皆様のご参加をお待ちしています。

阿蘇大会実行委員長 佐伯 知彦

主催 熊本県PTA連合会 主管 阿蘇PTA連合会

令和5年度 表彰

- 公益社団法人日本PTA 全国協議会会長表彰
 - 団体 人吉市立第二中学校PTA
 - 個人 池田 幸司
- 優良PTA文部科学大臣表彰
 - 大津町立美咲野小学校PTA
 - 阿蘇市立一の宮小学校PTA
 - 水俣市立水東小学校PTA
- PTA活動振興功労者表彰
 - 村崎 一英
 - 田浦 かおり
 - 藤井 千秋
 - 飯塚 直樹
- 熊本県社会教育功労表彰 (知事表彰)
 - 池田 幸司
- 九州ブロックPTA協議会会長賞 団体
 - 荒尾市立荒尾海陽中学校PTA
 - 南関町立南関中学校PTA
 - 菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA
 - 上天草市立登立小学校PTA
- 個人
 - 稗島 孝一朗
 - 井出 晃嗣
 - 宇都宮 一徳
 - 野口 太志
 - 岩本 和弘
- 感謝状
 - 中村 貞二

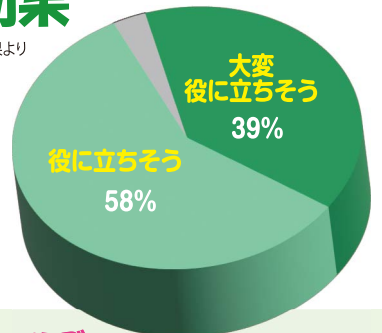


今こそ「親の学び」講座!

参加体験型の「親の学び」講座は、子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んだり、保護者同士のつながりを作るきっかけとなったりする講座で、PTA主催の研修会や授業参観時の学級懇談会等、様々な場面で活用できます。

「親の学び」講座の効果

令和4~5年度 熊本県社会教育課「親の学び」講座 Webアンケート結果より



今後の家庭教育や子育てに役立ちそうか?

「親の学び」オンデマンド講座

二次元コードからアクセスしてください。

科学的知見に基づく子育てのポイントや豆知識について、短時間の動画視聴で、学ぶことができる講座です(6~8分程度)。



睡眠編



デジタル機器編



スマホ編



朝ごはん編

「親の学び」講座のお問い合わせは、下記問い合わせ先又は最寄りの教育事務所や市町村教育委員会までご連絡ください。

問い合わせ先 熊本県教育委員会 市町村教育局社会教育課
くまもと「親の学び」オンデマンド講座 096-333-2697

「令和6年能登半島地震災害支援」へのご協力をお願いします!

熊本県PTA連合会

会長 田中 万里

このたびの石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、被災された皆様から心からお見舞いを申し上げます。熊本県PTA連合会では、被災されたPTA会員やご家族の皆様へ支援金を送るとともに、復旧に向けたPTA活動の支援や子どもたちの心のケアなどに取り組むことを決定しました。

私たちは、熊本地震や豪雨災害の際に全国各地から多大なご支援をいただきました。

被災された皆様が一日も早く日常と笑顔を取り戻すことができまじよう会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

新年が始まった矢先に起きた「能登半島地震」。多くの人々の命と意思が出がかりお見舞い申し上げます。一日も早く日常生活が送られる日が来ますことを願っております。

さて今回の紙面から「県P連」という記事を初めて掲載することにしました。

県P連の取り組みや子育て、教育などの悩みを共有する紙面として連載できればと考えています。

更に読みやすく、興味や関心がもたれるような紙面作り心がけてお届けします。温かく見守っていただけると嬉しく思います。

- 広報担当副会長 亀崎 清貴
 広報委員長 迫田 健一
 広報副委員長 松本 美恵
 広報委員 川畑 愛子
 広報委員 山口 法子
 広報委員 渡辺 淳
 県P新聞編集員 渡辺 裕幸